

【岐阜県版】安全就業ニュース



令和6年度10月号

【今月報告の事故】

○団体傷害保険関係事故

・死亡事故及び入院180日以上の重篤事故

該当事故の報告はありませんでした。

・後遺障害保険給付額30%以上の事故

地域	事故発生日	時間	内容
西濃地域	2023/12/01	13:30	75歳男性。樹木伐採作業の枝処理中に他の伐採した樹木が倒れてきたため、それを避けるために転倒した際に腰を骨折した。脊柱に中程度の変形を残すもの（第8級）に該当し、後遺障害保険給付率は34%となった。

・30日以上の入院事故

該当事故の報告はありませんでした。

○労働災害

・休業日数4日以上の負傷事故

該当事故の報告はありませんでした。

○派遣事業に係る損害賠償責任事故

地域	事故発生日	時間	内容
岐阜地域	2024/10/17	10:00	草刈り作業中、飛石により施設内のガラス2枚を破損させた。会員2名で作業していたが、事故直後は気づいておらず、どちらが破損させたのかは不明。作業終了時に施設利用者から破損しているとの指摘があり発覚した。けが人はいない。
東濃地域	2024/10/13	13:00	派遣先にて、イベントがあったためいつもと違う場所に駐車してあった配達車を出そうとした際に、左ドアをガードレールにぶつけた。左側ドアに傷と幅10cmほどの穴が開いた。

【お知らせ】

○作業時はヘルメットを着用しましょう。

高齢者の事故の多くは転倒や転落事故であり、その中で重症化した多くのケースはヘルメットを未着用だったことが、全シ協などから報告されています。県内でもヘルメットを未着用のまま脚立を使用する作業を行っていた事例があり、大変危険です。草刈りや剪定といった転倒や転落の可能性が高い作業を行う時は、必ずヘルメットを着用してください。

また、ヘルメットには種類や耐用年数があります。作業内容に応じた適切なヘルメットを着用し、古いヘルメットや破損したヘルメットは新しいものに取り換えるようにしてください。

保護帽（ヘルメット）の種類

- ・飛来・落下物用：帽体、装着体、およびアゴひもを持つもの
- ・墜落時保護用：帽体、装着体、衝撃吸収ライナー、およびアゴひもを持つもの
- ・電気用：帽体が充電部に触れた場合に感電から頭部を保護するもの

保護帽（ヘルメット）の耐用年数

- ・ABS、PC、PE 製（熱可塑性樹脂）：異常が認められなくても使用開始より 3 年以内
- ・FRP 製（熱硬化性樹脂）：異常が認められなくても使用開始より 5 年以内
- ・装着体：異常が認められなくても使用開始から 1 年以内

参考：・ミドリ安全株式会社 保護帽の使用区分について

(<https://www.midori-helmet.jp/dictionary/6-3/>)

・ミドリ安全株式会社 ヘルメット（帽体）の使用期限（耐用年数）を教えてください。

(<https://faq.midori-anzen.com/c06-09/>)

・一般社団法人日本ヘルメット工業会 保護帽の取扱いマニュアル

(<https://japan-helmet.com/wp/wp-content/themes/japan-helmet/pdf/gyoushamukehogobo.pdf?02>)

○自動車に起因する事故が増加しています。

今年度に入り、自動車に起因する事故が増加しています。単独事故だけではなく、加害者または被害者となる交通事故も報告されており、長期休業に至るケースもあります。

自動車に起因する事故は重症化する可能性が高く、賠償額が高額になりやすいのに加え、保険対応には時間がかかってしまいます。今一度、交通安全と自分の運転を振り返りましょう。

——— 今月の短歌 ———

彗星が 繋いだ想い 隠し詰めて
夢掴む日まで 暫しの別れを

